

# 八郎湖におけるアオコの発生状況等について

八郎湖環境対策室

## 1 発生状況

今年度は、昨年度より約1か月遅い7月25日に、馬踏川河口、天王大崎でアオコの初期発生を確認したが、その後は、レベル0～3で推移しており、異常発生(レベル5以上で広範囲かつ継続して発生する状況)には至っていない。

## 2 被害防止に向けた取組状況

### (1) 監視体制と市町村等との連携

- 馬場目川河口など湖岸5か所に設置している監視カメラにより、常時監視を行っている。
- さらに、6月中旬から、八郎湖増殖漁業協同組合に委託し、湖岸4か所での定期的な調査を行っているほか、随時、職員がアオコの発生状況を調査している。
- アオコの発生状況は、県のホームページで公表しているほか、流域の市町村等と情報を共有し、連携して悪臭被害等の防止に努めている。

### (2) シルトフェンスの設置状況

アオコの遡上が懸念される流入河川に、遡上を防止するためのシルトフェンスを設置した。

市町名	河川名	設置月日
三種町	鹿渡川、糸流川	8月3日
八郎潟町	馬場目川	7月11日
井川町	井川	6月27日
潟上市	馬踏川、豊川、妹川、飯塚川	6月24日、7月10日

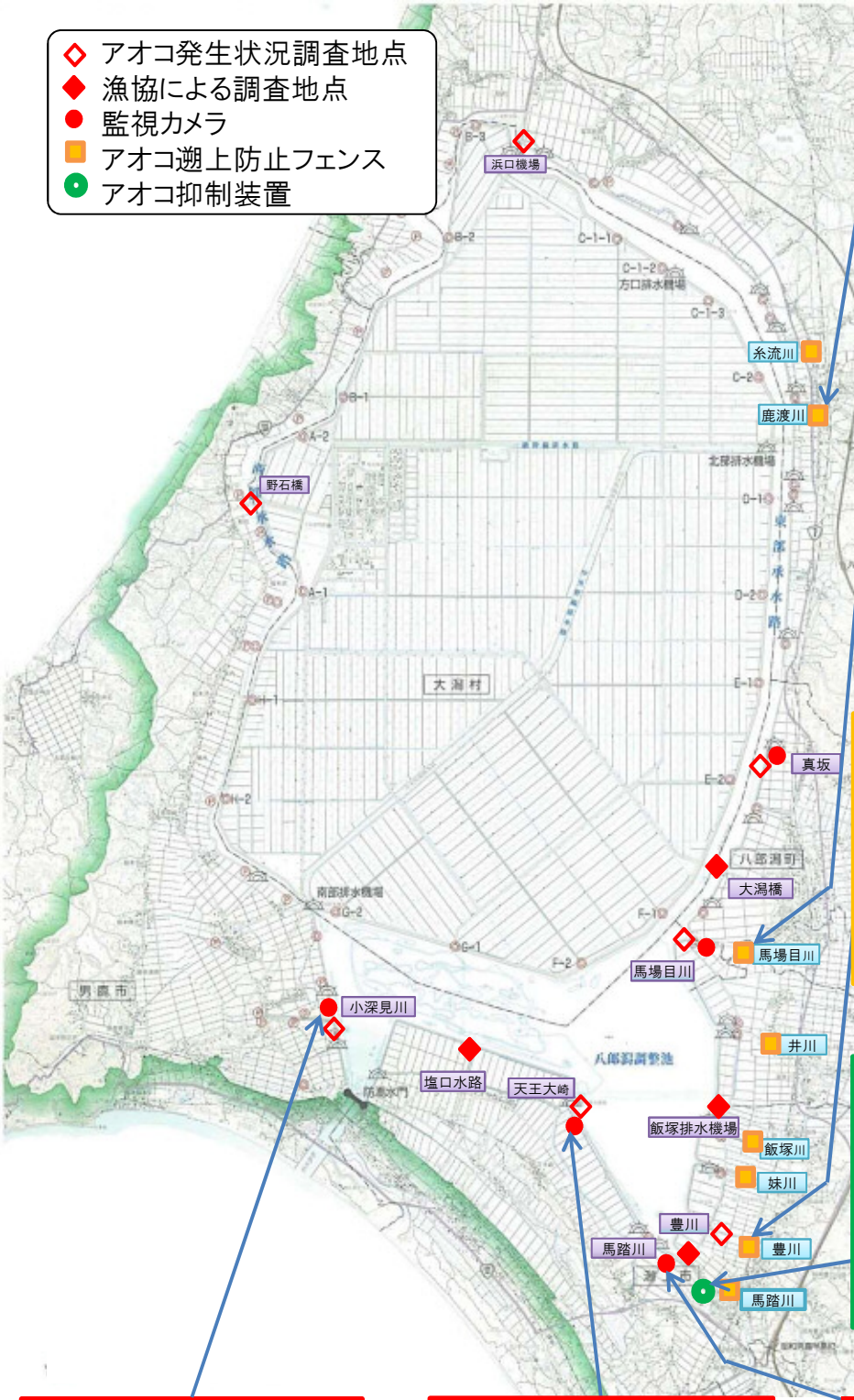
### (3) アオコ抑制装置の設置

アオコの河川遡上が特に著しく、悪臭被害が発生しやすい馬踏川には、アオコ抑制装置を設置している。

- 設置期間 6月23日～9月30日(予定)
- 運転期間 7月25日～9月30日(予定)

# H29年度アオコ対策の実施状況

- ◇ アオコ発生状況調査地点
- ◆ 漁協による調査地点
- 監視カメラ
- アオコ遡上防止フェンス
- アオコ抑制装置



アオコ遡上防止フェンス  
鹿渡川 (H29. 8. 4)



アオコ遡上防止フェンス  
馬場目川 (H29. 7. 14)



アオコ遡上防止フェンス  
豊川 (H29. 7. 11)



アオコ抑制装置  
(H29. 8. 14)



監視カメラ映像 小深見川  
(H29. 8. 14)



監視カメラ映像 天王大崎  
(H29. 8. 14)




監視カメラ映像 馬踏川  
(H29. 8. 14)

## 【参考】

### 1 今年度の気象データ

	平均気温 (°C)				降水量 (mm)			
	H29	平年比	H28	平年比	H29	平年比	H28	平年比
4月	9.5	高い	9.5	高い	112.0	多い	127.0	かなり多い
5月	15.6	かなり高い	16.3	かなり高い	57.0	少ない	89.5	平年並
6月	17.1	かなり低い	19.0	高い	124.0	多い	90.0	平年並
7月	24.3	かなり高い	22.8	高い	228.0	多い	82.0	少ない
8月	23.8	平年並	25.4	高い	114.0	平年並	98.0	少ない

	日照時間 (時間)			
	H29	平年比	H28	平年比
4月	167.5	平年並	167.0	平年並
5月	221.3	多い	228.8	多い
6月	176.2	平年並	133.6	かなり少ない
7月	188.4	多い	174.6	平年並
8月	188.5	平年並	262.4	かなり多い

 アオコが発生しやすい気象条件

注) ・データは気象庁秋田地方気象台「大湯」観測所のもの。

・平年比は、気象台発表の階級区分で、平年値（気象庁ホームページ掲載 1981年～2010年の30年間の平均値）との違いを表しており、「低い（少ない）」、「平年並」、「高い（多い）」の3段階のほか、その違いが顕著な場合は、「かなり低い（少ない）」、「かなり高い（多い）」としている。

### 2 アオコの発生レベル

アオコの発生レベルは、現場でアオコを目視し、国立環境研究所が提唱する「見た目アオコ指標」に照らしてレベルを判定している。

レベル0	アオコの発生は認められない
レベル1	アオコの発生は肉眼で確認できない
レベル2	うっすらと筋状にアオコが発生
レベル3	水の表面全体に広がり、所々パッチ状
レベル4	膜状にアオコが湖面を覆う
レベル5	厚くマット状にアオコが湖面を覆う
レベル6	スカム状に湖面を覆い、腐敗臭がする